

【第2部】意見交換会における主な意見

メインテーマ:政治を身近に感じてもらうには

●投票率が低い要因・投票率を上げる対策について

- 田原本の投票率が低い。若者の政治離れが懸念される。バックボーンとして、国の政治の問題などのニュースを聞くことによって政治不信があるのでは。
- 子育て世代は、余裕がないため、興味があってもなかなか政治に関われないところもある。
- 子どもたちが政治に興味がないのが懸念。学校教育においても、先生が中立的な立場で政治をテーマに話をしていく機会をもてば子どもたちも興味をもつのではないか。
- 子ども議会や高校生議会などを取り入れては。
- まず、年齢別、自治会別など投票率の分析が必要では。それを広報紙等で公表すれば、例えば、自分の自治会の投票率を見て少ないな、高いなということが分かれば自治会で動けることもあるのではないか。
- 活性化ポイントみたいに政治に参加すればポイントがもらえるなど意欲をかきたてるようなことをやってもらうのも一考では。お金ではなくて、町で使える商品券や割引券であれば、町で頑張っておられる自営業の皆さんにも効果があるのではないか。

●情報発信・フィードバックの大切さ

- 広報やホームページに載っている、何かに書いているから情報発信しているという過信。「伝えたよ」だけではなく、「伝わったか」が大事。
- いろんな発信方法があるが、若い人だけではなく、高齢者にもわかりやすく、興味を引くような紙面の編集を考えて欲しい。文字だけではなくビジュアルで伝えるともっと興味をもって見るのではないか。同じ情報でも楽しく伝えてほしい。
- 広報紙での伝え方や SNS の発信の仕方が大事。意識調査をすれば伝わったか分かると思う。
- イベントの活用。運動教室とかに議員も参加してもらって、参加者と対話してもらえると、もっと身近に感じられるのではないか。若い人ならトモルテとか他にも良い場所があると聞いている。
- 住民の声を吸い上げた結果、「あなたたちの意見がこういう風に変わりましたよ。」「こういうことで達成できるかもしれませんよ。」ということをもう一度住民に教えて(フィードバック)してほしい。そうすればみんなで話し合ったことが行政に届いたんだという達成感がでてくる。それが参加するということではないかと思う。

●議員にやってほしいこと

- 議会のフィードバックが足りていない。決定事項を各議員が各所へ出向きフィードバックしていくことが必要。町民に伝える手段として、議員の皆さんもっとイベントに出て来て発信してください。
- 議会の質問を毎回してください。時には反対意見も言ってください。町としてまとまることは大事だが、住民を代表しているので、必要な反対意見は是非ともお願いします。
- プラス面だけでなく、マイナス面も私たちに伝えてください。
「財政がこれだけ苦しい、だからこれをやめます。」ときちんと説明してくれたら、もっと身近になると思うし、皆わかってくれると思う。行政サービスにもっと期待したい。
- 議員の皆さん我々はいっぱい期待しています。我々を引き寄せてください。
- 議員の皆さんにもっと熱量を望みます。
- 町議会には期待しているので、議員の皆さん頑張ってください。

その他:まちづくりに対するご意見など

●田原本町のまちづくり・町に対する思いについて

- 田原本町は住みやすく、イメージが良いまちである。好きだからこそ町に期待している。
- 子育てにやさしいまちである。他の市町村にはない取り組みをしていることが田原本町の良いところのひとつではないか。
- 若い家族にも住みやすい環境や対応が良い。ますます良くなってほしい。
- 数年前の町のアンケート調査で、20代、30代は「暮らしにくい」という意見が多かった。全世代に充実感を持たせるにはどうしたらよいか、「住みにくさ」の根本は何かを探ることが問題解決につながるのではないか。
- 行政のことを知らないから批判することもある。行政と住民のつながりをもっと作って、知ることで住民の意識も変わればもっと良いまちになると思う。
- 町内に働く場所をつくる。高齢者が働きたいと働いて欲しいをマッチングする仕組みとしてお手伝い券を発行するなどしてはどうか。
- 町の財政が危機的な状況に陥る状態であることもみんなに知ってもらって、限られたお金を何に使っていくのか、必要性、費用対効果を見直して町政を進めることが大切。
- 自治会のあり方について。なかなか若い層が入ってこない。若い人たちがもっと参画できるしくみを作る必要があるのではないか。各自治会ごとにさまざまな悩みや問題があるが、行政として課題解決の手を差し伸べてほしい。
- やすらぎ公園の芝桜がなくなって残念なので再開してほしい。
- 役場からの放送(Jアラート)が聞こえないので、みんなにわかるようにしてほしい。
- 道の駅レスティ唐古・鍵に手軽に食べられる大衆食堂がほしい。
- 収集に来る時にゴミ収集者の音楽がなくなっている。なぜなくなったのか。

●高齢者の支援について

- 子ども、子育てにやさしいけれど高齢者に対してはどうなのか？財政を少し削って、高齢者に支援(手厚く)してほしい。
- 今までの皆さんの憩いの場やコミュニティがなくなってきている懸念がある。
- 空き家を活用した居場所がほしい。シニアサロンなど高齢者が集まれる居場所として空き家を活用できれば、高齢者だけでなく子育て世代も参加できる場所もあればいいと思う。
- タクシー券を申請するために役場に来ないといけないのは高齢者にとってはつらいので改善してほしい。
- タクシー券は非常にありがたい制度だが、不足している方もいれば余っている方もいるので、そのあたりの予算配分の方法も改良できないか。
- 健康ポイント事業について。健康ポイントが普及していけばいくほど、医療費の抑制や健康寿命にもつながっていくことが、あまり知られていないのもっとPRしていくほうがよいのではないか。健康ポイント事業の予算削減や事業縮小になっているので今後どうなるのか心配。
- ごみの戸別回収をしてほしい。

●農業の今後について

- 農地を減らさないでほしい。奈良県の食料需給率は低い。地産地消で地域の中で食料を守るような仕組みができれば、休耕地をなくすことに繋がるのではないかな。
- 農地を守るためにも若い人が農業に従事できる体制を作してほしい。

意見交換会に対する意見・感想

- 今回のテーマが大きすぎたんじゃないかなと思う。
- 次回は、例えば、「人口減少の歯止めするために田原本町を好きになってもらうために」とか、そういうテーマがいいのではないかな。
- 今回参加して財政事情を知ることができて良かった。
- 議会での新たな取組みを紹介いただいて、「田原本をもっと良くしていこう」、「議会にもっと関心を持ってもらおう」というところの取組みであるので、今日参加して、議員の皆さんが町をもっと良くしていこうと考えてくれていることに感銘を受けた。
- 今後、第2回、第3回と開催していったら、もっと田原本町を良くしていこうとする取組みに協働していければと思う。

